

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
平成29年度事業計画

基本方針

主として独立行政法人日本芸術文化振興会（以下「振興会」という。）からの委託を受け、組踊等の公開等の事業について次の業務を行う。

- 1 沖縄伝統芸能等の公演
- 2 伝統芸能伝承者養成業務
- 3 調査研究、資料収集・利用業務
- 4 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること
- 5 国立劇場おきなわの施設の管理運営及び劇場施設の利用に関すること
- 6 文化プログラム関連事業
- 7 その他必要な業務

1 沖縄伝統芸能等の公演（105,874千円）〈前年度105,675千円〉

(1) 自主公演の開催（86,308千円）

〔目的〕 自主公演の開催。

〔事業内容〕 自主公演の稽古及び開催。

〔公演内容等〕 下記の30公演40回を行う。

定期公演（16公演18回）

公演名	期間	回数
組踊「手水の縁」	4月15日	1
琉球舞踊「男性舞踊家の会」	4月22日	1
三線音楽「島唄の響き」	5月13日	1
組踊「二山和睦の巻」	5月27日	1
琉球舞踊「八重山舞踊」	6月10日	1
琉球舞踊「琉球舞踊鑑賞会」	7月8日	1
組踊「微行の巻」	8月26日	1
琉球舞踊「琉球舞踊特選会」	9月9日	1
民俗芸能「沖縄本島民俗芸能祭」	9月30日	1
琉球舞踊「男性舞踊家の会」	10月7日	1
組踊「大川敵討」	10月28日	1
組踊「花売の縁」	12月16日	1
琉球舞踊「新春琉舞名人選」	1月13日、14日	2
組踊「二童敵討」	1月27日	1
沖縄芝居 史劇 「護佐丸と阿麻和利」	2月24日、25日	2
民俗芸能 組踊「忠臣護佐丸」 (読谷村喜名)	3月3日	1

企画公演（7公演7回）

公演名	期間	回数
新作組踊「初桜」	7月15日	1
ゆらていく遊ば	10月14日	1
国立劇場寄席	11月11日	1
アジア・太平洋地域の芸能	11月25日	1
創作舞踊と新作組踊「太鼓の縁」	12月9日	1
石見神楽	1月21日	1
喜劇「ペーちゃんの恋人」	3月24日	1

研究公演（2公演2回）

公演名	期間	回数
山内盛彬・音楽の世界	6月17日	1
「御冠船踊と琉狂言」	2月10日	1

普及公演（5公演13回）

公演名	期間	回数
社会人のための組踊鑑賞教室 「執心鐘入」	6月24日	1
琉球舞踊鑑賞教室	7月29日	1
親子のための組踊鑑賞教室 「女物狂」	8月12日	1
沖縄芝居鑑賞教室	9月14日～16日	3
組踊鑑賞教室「二童敵討」	11月15日～18日	7

(2) 自主公演の開催準備（416千円）

[目的] 公演事業委員会で、平成29年度開催の自主公演のあり方について検討する。

[事業内容] 公演事業委員会を開催し、有識者から様々な意見を聴取、検討する。

(3) 沖縄県文化観光戦略推進事業(文化観光基盤整備事業)（5,700千円）

[事業内容] 国立劇場おきなわが、県内外の多くの方が利用する本県の文化観光施設の拠点となることを目指し、県外公演を実施する。

[公演内容等] 日時：平成29年12月6日

場所：名古屋能楽堂

演目：組踊と琉球舞踊

その他：公演会場にて、ロビー展示や物産販売等もあわせて実施し、沖縄伝統芸能への関心を深め、観客の満足度を高める内容を実施する。

(4) 沖縄県文化観光戦略推進事業(沖縄芸能マゲネットコンテンツ育成事業) (4,300千円)

[目的] 文化資源を活用し、観光客等に沖縄文化や伝統芸能の魅力を分かりやすく伝えることを目的に、新たな観光のメニューとなる魅力あるコンテンツ(舞台公演)を制作し、上演する。

[事業内容] 国立劇場おきなわ小劇場において嘉数芸術監督の作品を上演する。

(5) 沖縄県・国立劇場おきなわ普及促進事業 (9,150千円)

[目的] ア) 国立劇場おきなわの公演を鑑賞する機会の少ない地域において、当劇場で上演された演目の再演、展示、おでかけ講座・ワークショップを実施し、当劇場の取組をPRするとともに、組踊等の伝統芸能の普及を図る。

イ) 児童生徒向け普及公演において、学校団体の鑑賞促進及び負担軽減を図る。

ウ) 組踊に対する理解を深めていただくことで、リピーターの創出及び観劇の促進を図る。

[事業内容] ア) 当劇場で上演した公演を地域で再演する。場所は、調整中。

イ) 貸切バスの費用助成を行う。

ウ) 組踊ワークショップを開催する。

2 伝統芸能伝承者養成業務 (23,349千円) (前年度25,379千円)

(1) 組踊(立方・地方)の伝承者養成事業 (20,672千円)

[目的] 国の重要無形文化財「組踊」立方・地方の伝承者を養成する。

[事業内容] 第5期生(立方(5名)、地方(5名))の1年目の養成研修を行う。また、養成事業委員会を開催し、組踊養成事業に関する現状及び将来に向けた意見を聴取する。

(2) 既成者研修事業 (2,677千円)

[目的] 研修を修了した者の技芸向上を図る。

[事業内容] 組踊実技、研修発表公演。

3 調査研究、資料収集・利用業務 (41,283千円) (前年度40,077千円)

(1) 芸能記録作成 (31,370千円)

[目的] 組踊等沖縄伝統芸能の調査を実施し、収集、整理及び記録作成を行う。また、自主公演の公演記録、上演資料集、公演記録台本の作成を行う。

[事業内容] 組踊等沖縄伝統芸能の調査、収集、整理及び記録作成を行うとともに、自主公演の公演記録、上演資料集及び公演記録台本の作成を行う。

(2) 組踊等沖縄伝統芸能の図書資料等の収集・整理・利用 (9,913千円)

[目的] 組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資する図書資料等の収集、整理を行う。また、芸能資料展示、公演記録映像の公開を行い、一般の利用に供する。

[事業内容] 図書資料等の収集整理、芸能資料展示、公演記録映像の公開を行い、一般の利用に供する。

4 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること（8,575千円）〈前年度8,532千円〉

(1) 劇場施設の貸付

[目的] 劇場施設（大劇場、小劇場及び稽古場）の貸付を行い、芸術・文化の振興に寄与する。
[事業内容] 劇場施設の貸付を行い、国民の芸術・文化活動等の利用に供する。

5 国立劇場おきなわの施設の管理運営（578,822千円）〈前年度584,531千円〉

(1) 国立劇場おきなわの施設の管理運営

[目的] 振興会からの委託を受け、国立劇場おきなわの施設の管理運営を行う。
[事業内容] 国立劇場おきなわの施設の管理運営。

6 文化プログラム関連事業（12,707千円）〈前年度4,497千円〉

(1) オーディオガイドシステムの導入

[目的] 外国人客や県外観光客にも組踊公演を楽しんでいただくため、オーディオガイドを提供する。
[事業内容] 普及公演「組踊鑑賞教室」において、日・英・中・韓4カ国語のオーディオガイドを導入することで、外国人や県外観光客の観劇をサポートする。

(2) 企画展示における多言語リーフレットの作製

[目的] 初めて沖縄の伝統文化に触れる外国人観光客にも、「組踊」の魅力をわかりやすく伝える。
[事業内容] 平成29年度開催予定の国立劇場おきなわ企画展「組踊」において、多言語パンフレット・展示解説リーフレットを作製し、配布する。

(3) 外国人のためのワークショップ

[目的] 外国人客が組踊に対する理解を深め、公演をより楽しんでいただけるよう、英語通訳のある組踊ワークショップを開催する。
[事業内容] 普及公演「組踊鑑賞教室」の開演前に、英語通訳のある組踊ワークショップを開催し、レクチャー・体験等を通して組踊への理解を深めていただくことで、外国人客の観劇をサポートする。

(4) 韓国・国立無形遺産院との交流事業（展示）

[目的] 韓国と沖縄の文化を比較し理解を深めるとともに、韓国・沖縄の交流に寄与する。継続的に多角的な交流を続け、ネットワークを構築していく。

[事業内容] 韓国・国立無形遺産院との交流事業の一環で、韓国と沖縄の民俗芸能に関する企画展示を実施する。

(5) 韓国・国立無形遺産院との交流事業（公演）

[目的] 沖縄の地理的、歴史的特性を活かし、沖縄の伝統文化を通じたアジア・太平洋地域の交流拠点となることを目指す。

[事業内容] 国立無形遺産院の招聘を受け、国立劇場おきなわが沖縄芸能・文化の独自性と伝統を活かし、韓国国内で組踊公演を実施し、海外における沖縄伝統芸能の公開の機会を確保する。

(6) 組踊ワークショップ等の開催

[目的] はじめて組踊等の沖縄伝統芸能に触れる方にも興味を持っていただけるよう、県内外において組踊ワークショップ等のイベントを開催する。

[事業内容] 自主公演や県外公演にあわせ組踊ワークショップ等のイベントを県内外において開催することで、沖縄伝統芸能の魅力を伝えていく。

(7) 組踊鑑賞教室に関する広告宣伝費

[目的] 「外国人のための組踊鑑賞教室～Discover KUMIODORI～」をPRするため、多言語のチラシやポスターを作成するほか、外国人向けの広報媒体に広告を掲載する。

[事業内容] 「外国人のための組踊鑑賞教室～Discover KUMIODORI～」の多言語版チラシ・ポスターの制作及び英字新聞等の広告媒体への掲載。

(8) 電話通訳サービスの導入

[目的] 外国人客と円滑なコミュニケーションが図れるよう窓口の体制整備及びサービス向上を図る。

[事業内容] 劇場への来場または電話による問い合わせをされる外国人客に対応するため、民間会社の提供する電話通訳サービスを利用する。

7 その他必要な業務（4,665千円）〈前年度22,220千円〉

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催（4,025千円）

[目的] 国立劇場おきなわ主催公演を継続的に鑑賞する人への優遇を目的として、「友の会」会員の募集を行う。また、会員の特典の一つとして、講演会、バスツアー等を開催する。

[事業内容] 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集、会報の発行及び講演会等の開催。

(2) 募金活動の推進（640千円）

[目的] 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団の活動資金の造成を図る。

[事業内容] 企業等へ寄附金を依頼する。